

学部・研究科長、未来への道を語る

学部・研究科長、未来への道を語る

学部・研究科長、未来への道を語る

工学部・工学研究科

工学部は、「もの(製品)」を「創る(実用化)」ための技術について教育・研究することを役割とした学部です。家電製品、車、携帯電話、パソコン、LED等は、まさに工学部が中心となって製品化されています。また、これら製品を実現するために不可欠なナノテク、メカトロニクス、材料化学、バイオ、電子部品、燃料電池や最近話題となっているエネルギー問題を

解決する太陽電池、バイオマス、風車等の自然エネルギーの研究開発も工学部が担っています。三重大学工学部は、生活環境をより快適にするための殆どの産業分野をカバーしており、地域に根差し国際的に通用する高度専門技術者の育成と、日本の産業界と世界の科学技術の発展に貢献することを目指しています。



工学研究科長
小林 英雄
Kobayashi, Hideo

教育学部・教育学研究科

教育学部は、様々な教育問題、教育環境の変化に適切に対応できる教員を養成する学部です。教科や教職に関する高い専門的知識を身につけるための教育環境を整備・充実させるとともに、学生の学びと成長をサポートする体制を整えています。隣接した諸学校園と密接に連携協力して、学生の教育実践力を高める取り組みや諸学校園の教育活動を支援する取り組みを進めており、さらに、スタートして3年目となる教員免許状更新講習等にも積極的に取り組んでいます。今後は、海外の大学と連携し、語学研修や交換留学等の機会を広げつつ、国際的な教育環境を充実させ、国際社会に貢献する学部として発展していきます。



教育学部長
八木 規夫
Yagi, Norio

地域イノベーション学研究科

本研究科は、「プロジェクト・マネジメント」^{*1}ができる研究開発型人材」を育成することを目指した文理融合型の独立研究科です。地域立脚型の企業が抱えている成長障害因子(地域ニーズ)を発見し、その成長障害因子を解決するために、PM教員^{*2}とR&D教員^{*3}が協力して学生を教育し、世界に通用するグローバルな視点から新しい概念や方法を創造(イノベーション)し、地域を発展させるビジネス感覚を持った人材を育成することを目指しています。また本研究科は、社会人の再教育の場としても期待されており、社会のリーダーが多数入学し、地域圏産業を活性化するために、実践的な問題を解決しながら、新領域を開拓しています。



地域イノベーション学研究科長
鶴岡 信治
Tsuruoka, Shinji

*1 プロジェクト・マネジメント(PM)：新事業・新製品の企画から製品化、市場投入までの管理
*2 PM(Project Management) 教員：プロジェクト・マネジメント能力の養成を担当する専門教員
*3 R&D(Research & Development) 教員：基礎研究能力の養成を担当する専門教員



医学部・医学系研究科

医学部の使命は多様ですが、医学部とは?と問われたら、「確固たる使命感と倫理観を持って医療に臨み、豊かな創造力と研究能力を培い、人類の健康と福祉の向上に努めることのできる広い視野を持つ医療人を育成する組織」と答えます。換言すると、「健康の維持・増進、そして病気の予防と治療に携わる高度専門職業人養成の場」です。それに加えて、医学研究を通して、医療の進歩と発展に貢献することが目指すビジョンとなります。医療人の育成、医学研究の推進、高度医療の開発と実践という3つの目標の達成とともに、地域で活躍する医師、看護師、保健師、そして助産師を育成し、地域で安心して生活できる医療体制を維持できることを願っています。



医学系研究科長
登 勉
Nobori, Tsutomu

生物資源学部・生物資源学研究科

生物資源学部は、1987年にそれまでの農学部と水産学部が統合改組されてできた学部です。今でこそ「生物資源」という言葉がマスコミでも時々使われますが、当時としては画期的な名前でした。この歴史からもわかるように、その教育と研究は農林水産業に関わる内容が主軸です。私たちが生きるためには、地球上の生物やそれを育む環境をうまく利用していかなくてはなりません。単なる食料の確保だけではなく、その品質や安全性も問われます。食料を確保するために、環境を破壊することも許されません。生物資源学部は、県内の複数の国や県の研究機関等とも連携し、三重県や東海地域の農林水産業の発展に寄与できる研究と人材輩出を目指しています。



生物資源学研究科長
吉岡 基
Yoshioka, Motoi

人文学部・人文社会科学研究科

人文学部の教育研究の目標は、世界の各地域の歴史と文化の理解、そして、市民、企業および政府の活動の発展です。技術の革新と医療の進歩だけでは解決できない問題が山積するなか、広い視野から、これからの社会や地域をどう創るかを考える学部です。人文学部は、日中韓の大学とのネットワークを通して成果を発信し、アジアと日本に関心をもつ欧米の大学・学部と交流を進めています。これらの成果をもとに、学生の「学び」を応援し、理解力に優れた、指導力ある地域人材を育成しています。文学、法学、理学および医学の四学部で東京大学は発足しました。日本の近代化に不可欠であったのと同じように、人文社会科学は、グローバル化と分権化のもとで変貌する地域社会の維持発展に不可欠です。人文学部は、地域の「知の連携」の中軸として、発信力ある学部を目指します。



人文学部長
樹神 成
Kodama, Shigeru

Road to the Future